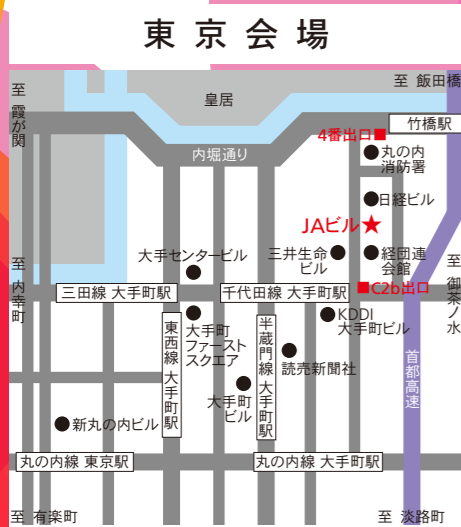


新しい資産選択と配分の理論



東京会場
JAビル カンファレンスセンター
 4階 401A
 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル
 TEL:03-3212-1912(代)

- 電車でのアクセス
 - ◎地下鉄千代田線・半蔵門線・三田線・東西線・丸の内線 大手町駅下車 C2b出口
 - ◎地下鉄東西線 竹橋駅下車4番出口
- お車でのアクセス
 - 首都高速道路：神田橋インターチェンジをご利用ください



名古屋会場
ミッドランドホール
 名古屋市中村区名駅4-7-1
 ミッドランドスクエア オフィスタワー5F
 TEL:052-527-8500

- 電車でのアクセス
 - ◎JR名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩5分
 - ◎ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分
- お車でのアクセス
 - 名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より約6分 駐車場の収容台数123台
 - 中部国際空港(セントレア)から名鉄空港特急利用で28分



大阪会場
ヒルトン大阪
 大阪市北区梅田1-8-8
 TEL:06-6347-7111

- 電車でのアクセス
 - ◎大阪環状線・東海道本線・宝塚線 (JR) 大阪駅下車徒歩2分
 - ◎阪神電車 梅田駅下車 徒歩1分
 - ◎地下鉄四ツ橋線 西梅田駅下車 徒歩1分
- 駐車場のご利用
 - ◎24時間営業
 - ◎300台収容(高さ2.5mまで)

お申し込み方法
 右記のいずれかの方法で、お申し込みいただけます。その際に、開催日またはタイトルをお伝えください(定員になり次第、締め切らせて頂きます)。また、ご案内のセミナーは基本的に機関投資家および資産運用に関連する方を対象とさせて頂いております。それ以外の方からの申し込みはお断りさせて頂いておりますので、あらかじめご了承下さい。

こちらからお申し込み下さい

- ① <http://www.fromhc.com>
プロ投資家向け 資産運用情報サイト「from HC」
- ② FAX: 03-6685-0686
- ③ TEL: 03-6685-0683

※今後、セミナー案内をご希望されない方は、誠にお手数ですが、セミナー事務局まで、お電話(03-6685-0683)か、E-mail (info@fromhc.com)にて、ご連絡をお願い致します。

本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討することを目的としております。本セミナー終了後には金融商品取引契約の勧誘を行う場合がございます。金融商品取引契約においては、投資対象の価格変動等により損失が生じる恐れがあります。また、報酬や諸経費は、契約毎に投資対象の種類等が異なるため、予め表示できません。なお、契約毎にリスク及び報酬や諸経費は異なりますので、契約締結前交付書面等をご覧下さい。

HCアセットマネジメント株式会社
 一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会加入
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-11 IP-Phone.050-3539-5013 Tel.03-6685-0681 Fax.03-6685-0686

1/15 (火) 東京
 15:00~17:30 (開場14:30)
 会場：JAビル カンファレンスセンター 4階 401A
 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル
 TEL: 03-3212-1912(代)

2/4 (月) 名古屋
 14:00~17:00 (開場13:30)
 会場：ミッドランドホール
 名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア オフィスタワー5F
 TEL: 052-527-8500

2/5 (火) 大阪
 14:00~17:00 (開場13:30)
 会場：ヒルトン大阪
 大阪市北区梅田1-8-8 TEL: 06-6347-7111

[人+産業金融=成長]
 成長を支える投資の原点へ



ご挨拶に代えて

投資はチャンステイクだ

『森本紀行はこうみる <http://www.fromhc.com/column/>』(2018.10.11)より

一般に、投資運用業においては、付加価値源泉を一つのチャンスに特定して、厳格なリスク管理を行うのが主流です。

しかし、個々の投資家においては、当然のごとく複数のチャンスに賭けているのであって、このことを分散投資というのです。分散投資は、リスク分散とも呼ばれますが、チャンス分散というほうがいいでしょう。

社債投資を例に挙げれば、信用リスクをチャンスとする投資の思想と、金利リスクをチャンスとする投資の思想を合併させると、チャンス分散された社債投資を構成することができるわけですが、そのようにして専門性がある限りにおいてチャンスを拡大させていくことで総合的な投資を志向することは、投資運用業においても珍しくありません。

さらに、資産とはチャンスを内包したものですから、チャンス分散は資産配分になるのです。しかし、社債投資の例を踏まえればわかるように、社債は債券という資産分類に属するとしたところで、投資の科学には何の役にもたちません。株式にしる、債券にしる、そのなかにチャンスを発見し、それを明確に定義することが重要です。

例えば、成長株投資の場合、経済の成長は必ず産業構造の変化をもたらし、産業構造の変化は必ず企業の成長と没落を伴います。正確には、革新的企業の成長によって産業構造の変化が起き、その結果、少なからざる企業が淘汰と再編に飲み込まれていき、経済総体としての成長が実現するというべきでしょう。ならば、そこには革新を担う企業群という大きなチャンスがあるのであって、そのチャンスに賭けるのが成長株投資です。

このように、チャンステイクに発した投資対象の構成こそ、投資の本質なのですが、同時に、個々の投資領域においては、チャンステイクの効率的な実現のために様々なリスク管理の技法が用いられていて、その総合が投資を科学にするのです。

講師：森本紀行

講演内容

資産配分は投資の基本であるとされていますが、その投資の基本が有効であるためには、配分以前の問題として、配分対象の資産が適切に選択されていなければなりません。例えば、四つの資産(国内債券、外国債券、国内株式、外国株式)の配分を考えると、その四つの資産が適切に選択されていなければ、いい換えれば、四つの資産を区分する定義が適切でなければ、いかに配分を工夫しようが意味はありません。

実務上は、各資産の定義を柔軟に拡張して、枠に収まらない資産を適当に振分けたり、オルタナティブ(その他という意味にすぎない)という第五の資産の種類を強引に設けて、そこへ何もかも放り込んだり、というような乱暴なことが行われているのが実態です。

このような便宜的手法では、おそらくは、科学的な基礎づけが不可能であり、投資手法の有効性の検証も不可能です。仮に、うまくいっている実例があるとしても、それは、表向きの基本としての資産配分戦略が機能しているのではなくて、既存の枠に裏側から押し込んだ新たなる資産(あるいは投資機会)が機能しているからでしょう。

それであれば、大切なことは、もはや資産配分ではないのです。資産の配分の枠の中に、何を織り込むかです。換言すれば、どの資産(あるいは投資機会)を、どのような基準で選択するかです。今回は、その資産選択の基準として、本源的収益および価値と価格の差という二つを提示して解説します。これは、伝統的な資産配分の方法を根底的に打破する新しい投資の方法論の提示です。

講演項目

●投資対象の分類・選択・配分

- ◎四資産分類と配分の欠陥
- ◎資産運用の4つの原則
- ◎事業キャッシュフローとインカム
- ◎オブジェクトファイナンスの拡大(企業金融から事業金融へ)

●収益の源泉の選択と配分

- ◎インカムの配分の第一段階
- ◎バリュウの基本的論点
- ◎インカムの配分の第二段階
- ◎バリュウの回転

●四資産配分の再構成

- ◎仮に四資産配分を使うとして、その再構成
- ◎仮に四資産配分を使うとして、その枠組みのなかに新しい思想を導入
- ◎四資産配分の枠組みを維持した革新



講師略歴

HCアセットマネジメント株式会社
代表取締役社長

森本紀行

三井生命のファンドマネジャーを経て、1990年1月当時のワイアット株式会社に入社。日本初の事業として、年金基金等の機関投資家向け投資コンサルティング事業を立ち上げる。2002年11月、HCアセットマネジメントを設立、全世界の投資機会を発掘し、専門家に運用委託するという、新しいタイプの資産運用事業を始める。東京大学文学部哲学科卒。